

=====

＜水球陣＞関東学生リーグ第8戦

H28.6.22 対国際武道大 @日体大健志台プール

東大 2 3 1 1 計7

国武大 0 3 5 4 計12

得点者：石田(1)、梶原(2)、細江(1)、山田(2)、池亀(1)

インカレに出場するには勝たなければならない順位決定トーナメント第一戦である。相手の国際武道大は予選リーグで敗北した相手だが、あれから対策もして練習も更に積んできた。強敵だが絶対に勝つのだと気合を入れて試合へ臨む。

第1ピリオド

序盤から激しい攻防が続く。途中、退水のピンチも落ち着いたディフェンスと宮内が止める。互いに決め手を欠く中、終盤退水のチャンスに池亀がシュートを決め、先制点を挙げる。終了間際梶原が泳ぎこみペナルティシュートを誘発し、山田が決める。第1ピリオドを2点リードで終える。

第2ピリオド

追いつきたい国武大の猛攻を宮内の好セーブもありしのぎ続け、ついに中盤カウンターで石田が追加点を挙げる。しかし相手のカウンターで1点を返され、その後に退水で強烈なミドルシュートを決められてしまう。東大も攻め続け梶原が退水を誘発した後ループシュートを決め、続く退水のチャンスにも梶原が得点する。だが警戒していた相手のミドルを防いだ後のこぼれ球を押し込まれ、このピリオドはリードを広げられないまま終える。

第3ピリオド

開始直後に相手にミドルを決められるとそれから激しい泳ぎあいとなり、中盤池亀のカットから細江がカウンターを決める。しかし国武大に抜かれるシーンが増え、連続失点し同点とされてしまう。流れを止めたい東大だが相手の猛攻を止められずに逆転され、2点差とされて第3ピリオドが終了する。

第4ピリオド

追いつきたい東大は細江にボールを集めるも相手にひいて守られ得点できない。その中で国武に得点されてしまったが、オーバー間近に山田が長距離からシュートを決め、反撃する。しかし相手にペナルティシュートを決められる。東大は攻め続けチャンスを作るがものできない。一方国武大の猛攻は続き、残り時間わずかにも2得点され、5点差で試合終了となった。

前半を2点リードと以前敗北した相手に互角以上の試合を展開しただけに悔しい結果となった。後半も泳ぎ続け、カウンターを出すことはできていた。しかし最後の最後に東大は国武大に泳ぎ勝つことができなかった。負けてしまったが関東学生リーグはまだ終わりではない。来週の最後の試合に向けて練習を頑張るしかないのだ。最後に監督を務めてくださった正田さん、応援に来てくださった洲鎌さん、浪間さん、お忙しい中ありがとうございました。

(文責 鈴木陽介)
